

第360号

2012年

8月29日

どついたニュース

全損保日動外勤支部

東京都中央区銀座5-13-7

東銀座東京海上日動ビル1階

電話 03-3542-9857

FAX 03-3542-9858

教宣部 発行

原水爆禁止2012年世界大会参加

「核のない時代がきて欲しい」

支部を代表し 土生組合員が参加

今年も、8月4日から6日の日程で、広島で開催された原水爆禁止世界大会に、当支部より4名の組合員が参加しました。支部代表として参加した土生組合員よりレポートが届きましたので、次ページ以降に掲載します。

レポートにも書かれていますが、8月6日の原爆投下時間になると、すべての広島の「時間」が止められ、皆で一斉に黙祷が行われます。それは、犠牲になった方へ哀悼の意を表するとともに、原爆が投下されたという悲惨な歴史を決して風化させず、核兵器のない「平和」な世界を築いていこうという「ヒロシマ」の意志のあらわれだと言えます。核兵器のない世界、戦争のない世界、平和な世界 を実現させるために、一步一步、あゆみをすすめていきましょう。

平和を守る取りくみは全損保が掲げる大きな運動方針のひとつです。日動外勤支部は今後も、全損保運動の先頭に立って、平和を守る取りくみに参加していきます。

原水爆禁止 2012 年世界大会報告

日動外勤支部 土生敏晴

今回私が原水爆禁止 2012 年世界大会に参加しましたので、その報告をします。広島は以前 10 回ほど来ていますがこの様な催しは初めてです。参加メンバーは井出、守谷、長田と私の 4 人でした。

8 月 4 日午前 8 時 13 分発の臨時列車で東京駅を出発し、4 時間あまりで広島に着きました。着いてすぐ駅前のラーメン屋さんで食事を取り、世界大会会場のグリーンアリーナに向いました。アリーナには全国から集まった数千人の代表で埋め尽くされ、2 時間ほど崇高な話を聞き、次の行動では広島地協の方による慰霊碑巡りを行いました。

慰霊碑巡りから参加者も増え、30 名位でガイド方の熱心な説明を聞きました。真夏の太陽が照りつけるなかでも話に惹きつけられ、感慨深い気持ちになりました。特にテレビなどで何度も見ている原爆ドームを見た時には、痛ましき、悲惨さを感じずにはいられませんでした。

最後は広島アンデルセンで損保平和交流会を行いました。参加者は予想を上回る 50 名ほどで、現役、OB、家族の方など、顔見知りの人もおり、とても盛り上がり楽しい宴でした。

8 月 5 日は事前に申し込んでいた動く分科会の岩国基地視察に井出さんと参加しました。朝 8 時 30 分に広島駅のバス停に集合しバス 10 台で行きました。今話題になっているオスプレイのせいか参加者の多さにびっくりしました。昼ごろに基地の近くの污水处理所に着き遠くから見ましたが、休日のせいか飛行機の離発着もなくとても静かで行く前の予想と大分違っていました。ただ説明してもらった地元の人の話では騒音などの環境被害は深刻だと言っていました。肝心のオスプレイは格納庫の前に一機いましたが、遠くてあまり良く見えませんでした。移動して岩国市内の施設で昼食をとり錦帯橋や公園などを見て回り夕刻に広島駅に着き 2 日目を終えました。

8 月 6 日最終日に、全損保の碑で 8 時 30 分から慰霊祭があり、代表が献花をし犠牲者に哀悼の意を表しました。原爆投下の時間に電車が停まり皆が一斉に黙祷を捧げたことにちょっと驚きましたが、今日まで長年続けられてきたことがとても素晴らしい事だと感激しました。参列者は 50 名で慰霊祭が終わってから後片付けをして、近くの広島地協の事務所に寄り、解散しました。

最後に原爆投下について自分なりに歴史的な検証を試みたいと思います。アメリカの学校では原爆投下は正しいという方向で子供のころから教えられていて、一般的に正当化されています。はたしてそれは本当なのでしょうか？私は以前から疑問を持っていました。

最近第二次世界大戦の時の状況が段々と分かってき、原爆投下の真実が明らかになってきました。それはアメリカが今まで言ってきたポツダム宣言を承諾しない日本に降伏を促し、犠牲者が両国合わせて 1000 万人以上になるだろう本土上陸作戦を避けるため、仕方なく使ったという理屈です。

しかし 1944 年 9 月のルーズベルトとチャーチルの会談で、開発中の原爆を日本に投下することが決定されました。1945 年 7 月 16 日ルーズベルトの後継者であるトルーマンのもとにニューメキシコでの原爆実験成功が伝えられ、9 日後の 7 月 25 日には、トルーマンの承認を得てトーマスハンディ大将から「8 月 3 日以降、広島、小倉、新潟、長崎のいずれかに原爆を投下せよ」との命令が下されました。ポツダム宣言が発表されたのはその翌日の 26 日です。鈴木貫太郎首相がそれを「無視する」と発表したのはポツダム宣言の 2 日後の 28 日でした。「日本がポツダム宣言を拒否したから」どころか、ポツダム宣言の発表以前に原爆投下命令が下されていたのです。アメリカの言っていたことは真っ赤な嘘でした。

ちょっと古い資料ですが興味ある記事があります。1999 年末、アメリカの AP 通信社が、世界の報道機関 71 社にアンケートを求め、20 世紀の 10 大ニュースを選びました。5 位がベルリンの壁崩壊、4 位が米宇宙飛行士による月面歩行、3 位がドイツのポーランド侵攻、2 位がロシア革命、そして何と 1 位が広島、長崎への原爆投下でした。

人道を掲げるアメリカにとって、人類初の、人類唯一の、原爆投下は申し開きのできない蛮行です。

今のアメリカでは軍事産業が重要な位置を占め原爆を無くすことはまだ難しいかもしれませんが、日本が非核の見本を示していけば理解できる時期が来るかも知れません。

先の大戦で建物などは破壊されましたが、人の心までは破壊されませんでした。日本人の良さである勤勉、努力、忍耐、向上心、団結力などは受け継がれてきました。この資質は世界に誇るべきものです。日本人はもっと胸を張って世界に発信していけば、平和が訪れるはずで

日本、世界の人々の願いである核のない時代が早く来ることを願いペンを置きたいと思